

令和2年度(元年度実績) 総合評価書 <施設名 多治見市図書館>

1. 指定管理者名	公益財団法人 多治見市文化振興事業団
2. 指定期間	平成28年 4月 1日 ~ 令和3年 3月31日

3. 業務の範囲	(1) 図書館法第3条各号に規定する事項に関すること。 (2) 図書館の施設及び設備の維持管理に関すること。 (3) 市史販売等に係る料金の徴収に関すること。 (4) 読書の普及活動及び読書団体の支援に関すること。 (5) 図書館法第2条に掲げる目的のために必要な事業の運営に関すること。
----------	--

4. 採点表

評価項目	細目	配点	採点基準	実績(パーセントを求める場合は、小数点第1位を四捨五入)	分析、評価、指示等	得点	
1 運営・利用状況 (40点)	(1)利用状況(10点)	5	①施設の利用率(利用時間/日数×営業時間)+D8:L9	平均値比とは、当該評価対象年度の利用率を次に掲げる値で割って求めた率をいう。 (1)指定管理期間1年目 前指定管理期間における利用率の平均値 (2)2年目以降 指定期間における当該評価年の前の年の利用率の平均値(例:4年目の場合は、1~3年目の平均利用率) (3)新規施設の場合又は施設内容の大幅変更等により(1)、(2)によることが不適当であると判断される場合 他の類似施設における利用率実績に所要の調整をして算出した値 ・図書館本館:平均値比(96%)=利用冊数(644,260冊)÷670,940冊(上記(2)適用)	105%未満~95% 4点	年次報告書P247(利用冊数) ※平均値比●% = (R年度実績) ÷ (過去3年間実績平均値) 開館日数:日(R1:301日、過去3年間平均日数:297日) R1:644,260冊 過去3年間平均:670,940冊 (H30:662,333冊、H29:680,520冊、H28:669,967冊)	4点
	②利用人数		平均値比(注) 105%以上:5点、105%未満~95%:4点、95%未満~85%:3点、85%未満:2~0点 ・図書館本館:平均値比(94%)=利用人数(延べ158,491人)÷167,893人(上記(2)適用)	95%未満~85% 3点	年次報告書P.251(貸出人数) ※平均値比●% = (R年度実績) ÷ (過去3年間実績平均値) 開館日数:日(R1:301日、過去3年間平均日数:297日) R1:158,491人 過去3年間平均:167,893人 (H30:164,904、H29:169,591人、H28:169,185人)	3点	
	(2)市の事業の企画・運営・実施状況(仕様書内)(15点)	15	仕様書以上:15~12点、仕様書に忠実:11~9点、仕様書の一部不実施(軽微):8~7点、仕様書の一部不実施(中程度):6~3点、それ以下:2~0点	【図書館】 年次報告書P234~247(文化事業一覧) ・第53回多治見市文芸祭 一般の部 873人(1,676点) 小中学生の部 7,188人(12,125点) 応募点数は一般の部-3%(-49点)、小中学生の部+0.8%(+100点) ・文芸祭作品展示、文芸祭表彰式 ・企画展示事業 まちの関心ごと展示 52回 季節のミニ展示 88回(合計して昨年より+14%) 【郷土資料室】 ・古文書ミニ展示 4回、古文書講座 5回(講座タジミ学 2回、古文書講座3回)、調査	仕様書以上 14点	・文芸祭は市内をはじめ全国からの継続的な参加があったことに加え、他県の中学生から小説の部への参加もあり、文芸祭の定着と広がりが見られた。 ・表彰式に特別ゲストとして芥川賞作家の諏訪氏による講演会を実施し、文芸祭に関心の薄かった層にもアプローチすることができた。 ・季節の展示や市内のイベントや事業に関連した展示をすることで、より市民の文化活動を深めるサポートができた。 ・郷土資料を活用した市民講座を実施するだけでなく、郷土である「多治見」に関連する講座を実施することで、幅広く多治見の歴史と魅力を発信することができた。 ・古文書講座は小学生から高齢者まで幅広い世代の参加があった。また、毎回50名を招き、1名でも増えた。	14点
(3)自主事業の企画・運営・実施(15点)	15	内容・事業数等が期待以上:15~12点、内容・事業数等が例年通り:11~9点、内容・事業数等が例年よりやや劣る:8~7点、内容・事業数等が例年より劣る:6~3点、内容・事業数等が例年よりかなり劣る 2~0点	【図書館】年次報告書P249~254(文化事業一覧) ブックスタート事業 ・ブックスタート 22回 579組(4カ月健診時に実施)、小さなおともだちのためのおはなしの会 22回 458組 読書活動団体連携事業 ・ファミリーウェルカムプロジェクト 大人も子どももにっこりのコンサート 1回 120人、図書館の魅力丸かじり トショカンフェス 9ブース合計 1,550人、図書館ガイダンス 2回 20人 お届けセミナー 1回 15人、おはなしの会 17回 282人 英語多読支援事業 ・英語多読講演会 1回 49人 多読クラブ 21回 306人 読書活動団体連携事業 ・がんサロン「綿の実会」医療情報コーナーと利用者むすぶ場 10回 133人 ケア帽子の手作り会 27人 読書推進事業 ・図書館裏側探検 9回 170人、図書の修理ボランティア養成講座 1回 20人 他	期待以上 14点	・継続的な取り組みにより、新規利用者が増えた。 ・「トショカンフェス」では、企画段階からボランティアや協力団体が参加し一緒に事業を作り上げた。 ・利用者が考える「図書館の魅力」や「活用法」を集め、一緒に事業を実施することでより多くの利用者にPRできる催しとなった。 ・図書館の既成概念にとらわれない新しい楽しみ方が提案され、良い効果を生み出すことができた。 ・英語多読支援事業において、継続して多読クラブを実施するだけでなく、他の多読クラブとも共催で事業をすることができ、新しい利用者を開拓できた。 ・図書館の魅力をもっと知ってもらうため、毎月テーマを変えて事業を実施した。地下書庫や郷土資料室など、利用者にとってなじみの薄い場所を案内することで、より図書館に関心をもってもらえる事業となった。	14点	
2 施設管理状況 (25点)	(1)施設管理業務の実施状況(10点)	10	①清掃	本館:学習館と同じ 定期清掃、日常清掃を実施。ロボットクリーナーによる清掃も実施。	適正(普通) 2点	適正に実施されている。	10点
			②保守・点検	本館:年次報告書P272②保守・点検 機器等保守点検(図書館システム)	適正(普通) 2点	適正に実施されている。	
			③保安・警備	本館:学習館があわせて実施	適正(普通) 2点	適正に実施されている。	
			④小規模修繕	本館:年次報告書P266④小規模修繕 有償修理 全5件 総額199,627円	適正(普通) 2点	適正に実施されている。	
			⑤危険箇所の把握(施設の瑕疵)	※駐車場は、期待以上:8点、適正(普通):6点、一部不備あり:4点、不備あり2点 年次報告書P76⑤危険箇所の把握 ・毎朝の日常点検から本棚や机、椅子等のネジの緩みの確認、エンジェルカート、ワゴンカートの動作確認を行っている。 ・救命救急講習を休館日の閲覧フロアを利用して実施し、実際の職員の動きをシミュレートすることで確認している。	適正(普通) 2点	適正に実施されている。	
	(2)その他管理業務の実施状況(6点)	6	①文書管理	・多治見市のファイリングシステムに準拠する方法で適切に文書管理を行い、情報の共有を図っている。 ・業務フロアが2階、3階、4階に分かれることから、各階に設置する業務用パソコンをLANで結び、職員全員が業務連絡やメールの最新情報を把握できるようにしている。	適正(普通) 2点	適正に実施されている。	5点
②環境への配慮	・冷房運転を行う時は、壁掛扇風機を併用し冷気を循環させている。 ・2階、3階開架フロアの照明をLEDに256本更新した。 ・除籍資料は、リサイクルフェア等を活用して利用者や公民館へのリユースを行っている。 ・再利用に耐えられない除籍資料は古紙リサイクルに回している。		期待以上 3点	適正に実施されている。 ・2階、3階開架フロアの照明をLEDに256本更新した。			

2	施設管理状況 (9点)	(2)その他管理業務の実施状況(9点)	③バリアフリー	9	①チェック細目の丸数字の各項目を4段階評価する (期待以上:3点、適正(普通):2点、一部不備あり:1点、不備あり:0点) ②3項目の合計点とする。	・WebOPAC(インターネットからの本の検索)に障がい者支援ブラウザを導入し、視力が弱い利用者の図書館利用を支援した。(H30から1年更新、東濃3市では多治見市のみ) ・館内の案内は、小さな子どもから高齢者まで幅広い年代に応えられるようイラストや大きな文字を用いている。 ・開架フロアに「車いす優先席」を2箇所設置。図書館からのお願いは、イラストを交え利用者の立場を考えて行っている。 ・車いすやベビーカー利用者が開架フロアを利用しやすいよう、通路の幅を見直した。	期待以上 3点	・適正に実施されている。 ・障がい者サービスの拡充がされている。 ・WebOPAC(インターネットからの本の検索)に障がい者支援ブラウザを導入し、視力が弱い利用者の図書館利用を支援した。	7点
			④備品管理			・やさしすと文庫基金や環境整備事業等を活用して、開架の書架を増設。 ・経年劣化や不具合のみられる機器等は、迅速な修繕、更新を心掛けている。30年度は、返却ポスト室内の保護用クッションの張替修繕、公用車のタイヤ他交換、ロボットクリーナーを修繕。 ・Windows7のサポート終了に伴い、使用していたパソコンをすべて更新。(18台更新)	適正(普通) 2点	適正に実施されている。	
			⑤個人情報保護			・各階にシュレッダーを配置するとともに、個人情報の記載された用紙は適宜シュレッダーをかけて廃棄している。 ・図書館システムの画面(貸出・返却)など、できる限り個人情報を表示しない設定にしている。	適正(普通) 2点	適正に実施されている。 ・図書館システムの画面(貸出・返却)など、できる限り個人情報を表示しない設定にしている。	
			⑥事故等への対応			・利用者から館内で不審者に付きまわられているとの申し出を受け、すぐにバックヤードに利用者を案内し、安全を確保後警察に通報。利用者にケガ等は被害はなかった。 ・新型コロナウイルス感染拡大防止のため、貸出期間の延長と貸出冊数の増加を市に提案した。	事故なし・対応に不備なし 0点	適正に対応されている。	
3	当該施設の経営状況 (5点)	①事業収支	5	当該年度の収入÷支出が、105%以上:5点、105%未満~100%:4点、100%未満:3点	収入285,006,228円÷支出283,241,154円=101%(図書館、子ども情報センター、市民活動交流支援センター含む)	105%未満~100% 4点		4点	
4	より良い施設運営のための取組 (30点)	(1)市民・利用者の声の反映 (15点)	①ニーズの把握・事業への反映	10	期待以上:10~8点、適正(普通):7~5点、不備あり:4~1点	・視力の弱い利用者や視力に障がいを持つ利用者も、Webから資料の検索や予約等が簡単に行える環境を考えてほしい。→図書館では「障害を理由とする差別解消の推進に関する法律」の合理的配慮の観点から、障がい者の方も健常者と同等のサービスを提供するよう努めている。 ・総務省や経済産業省等でも使われる支援ブラウザをホームページ上に導入し、利用者が求める文書の音声読み上げ、背景色の切替え、文字拡大、ふりがな表示、ディスプレイへの対応を可能にしている。 ・商店街で行う講座のPRに協力し、関連資料の展示を行った。 ・返却のみの利用者のため、館外の返却ポストを24時間利用できるようにした。 ・医療情報を探しやすくするため、病名ごとに集めて配架し、分かりやすい「表示板」を設置した。 ・子どもへの読み聞かせのサポートとして、お薦めの本を集めた「この本おもしろいよ」を配布するとともに、子どもや親子向けの資料を「やさしすと文庫」を活用して配架した。 ・本を入れて運べるカートを設置するとともに、図書館フロアだけでなく地下駐車場や1階への持ち出しも可能にし、使いやすくした。	期待以上 9点	・ニーズに迅速かつ適切に対応している。 ・WebOPAC(インターネットからの本の検索)に障がい者支援ブラウザを導入し、視力が弱い利用者の図書館利用を支援している。 ・全国的に企業等の図書館活用を支援する図書館が増えており、多治見まちづくり株式会社から多治見市図書館へ協力依頼を受け、実施している。 ・返却のみの利用者のため、館外の返却ポストを24時間利用できるようにした。 ・医療情報を探しやすくするため、病名ごとに集めて配架し、分かりやすい「表示板」を設置した。 ・子どもへの読み聞かせのサポートとして、お薦めの本を集めた「この本おもしろいよ」を配布するとともに、子どもや親子向けの資料を「やさしすと文庫」を活用して配架した。 ・本を入れて運べるカートを設置するとともに、図書館フロアだけでなく地下駐車場や1階への持ち出しも可能にし、使いやすくした。	9点
			②苦情対応	5	期待以上:5点、適正(普通):4点、不備あり:3~1点 ※苦情なしは4点とする	・資料がインターネットで検索できるようになった時点で、すでに多数の予約が入っているのはおかしいのではないか。 →資料の予約は、当館に所蔵している資料のほか未所蔵の資料であっても受け付けている。その中で、刊行予定の資料であっても予約を受けていくため、人気のある作家の資料などは所蔵した時点で多数の予約が入っている場合が多数ある点をご案内した。 ・図書館HPの利用者のページで、未所蔵資料への予約がされていることは確認できるが何を予約してあるのかが確認できない。 →システムを変更し、未所蔵資料の予約についても予約された資料名がわかるように改善した。	苦情なし・適正(普通) 4点	・適切に対応されている。 ・利用者の要望にも適切に対応されている。	4点
		(2)より良い施設運営・事業実施のための提案・姿勢、上記1~3の評価に反映されないその他の成果ポイント(15点)	15	提案、姿勢、その他の成果ポイント(アピール)が期待以上:15~12点、適正(普通):11~9点、普通未満~物足りない:8~0点	・より「借りやすい」環境を提供するため、「セルフ貸出機」12台を2階カウンター横に新設した。借りる本を職員に見られることなく利用できることで、より利用者のプライバシーに配慮ができる環境になった。 ・利用者がより資料を選びやすくするため、表紙を出して展示できるスペースを増設した。 ・図書館資料の展示を年間通じて実施している中で、ジャンルや分類の枠を超えすべての資料を一つのテーマで選別して行う展示を行った。 ・図書館側からの投げかけだけでなく、より図書館に関わってもらえるよう利用者参加型の展示企画を実施した。動きのある展示は来館者にも好評であった。 ・図書館まで来られない利用者にも気軽に本を利用してもらえよう、公民館図書室を経由した図書資料の貸出を実施している。(前年度比5%増)	期待以上 14点	より良い事業実施の提案がされている。 ・既存概念にとらわれるのではなく、利用者と一緒に情報を共有しながら、より良い図書館としての方法を考えている。 ・様々な機関との連携を深めながら、新しい利用者の創出に取り組んでいる。 ・「利用者の目線」で館内の施設やサービスを改善している。	14点	
5	その他 (減点方式)	(1)報告書類の提出状況	0	提出書類の遅れ・不備に応じて減点対象とする(遅れ・不備内容の程度により△1~△3点) 一部遅れ・不備あり(軽微):△1、一部遅れ・不備あり(中程度):△2、一部遅れ・不備あり(それ以下):△3		遅れ・不備なし 減点なし		0点	
		(2)市からの指示等への対応(報告書類の提出以外)等	0	指示への対応等に応じて減点対象とする(対応等の内容により△1~△3点) 指示等なし・対応等が期待どおり:減点なし、対応等が期待以下(軽微):△1、対応等が期待以下(中程度):△2、対応等が期待以下(それ以下):△3		指示等なし・対応等が期待どおり 減点なし		0点	
合計			100	【4段階評価】 極めて良好 100~85点 良好 84~65点 努力が必要 64~45点 取消し等を検討 44点以下			全体的な評価 ・新たな提案による事業展開により、新規利用者の獲得につながっている。 ・利用者と利用人数は昨年度より減少しているが、図書館の現状や利用者のニーズを的確に把握し、質の高いサービス提供に努めている。 ・地域や施設間の連携に取り組み、市民が求める情報の発信をしている。 ・利用者が安心して利用できるよう、常に新しい取り組みをしている。	合計88点  極めて良好	